

授業科目 発達障害系治療学

【担当教員名】 押木利英子、永井洋一	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期：前半	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

神経発達学的治療法の概略について解説する。発達障害をきたす疾患の特性とその評価と治療について講述する。運動発達の原因と機序の理解を基礎にして、発達障害児の評価・問題点・治療プログラムの作成・治療法を講述し、その理学療法について教授する。

<行動目標：S B O>

- 1 発達障害児に対する治療法の理論と方法が説明できる。
- 2 各種治療法の概要とその適応について説明できる。
- 3 二分脊椎児を代表とする小児整形外科疾患の病態について説明できる。
- 4 二分脊椎児を代表とする小児整形外科疾患の評価と治療の概略が説明できる
- 5 ダウン症、知的発達遅滞の病態とその評価と治療の概略が説明できる。
- 6 ダウン症、知的発達遅滞の病態について説明できる。
- 7 プレスピーチの理論と方法が説明できる。
- 8 シーティングの理論と方法が説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法、担当教員
1	神経発達学的治療法の理論と方法（1） -ポバースアプローチ	1,2	講義
2	神経発達学的治療法の理論と方法（2）	1,2	講義、実技
3	神経発達学的治療法の理論と方法（3） -ポイタ法	1,2	講義
4	神経発達学的治療法の理論と方法（4）	1,2	講義、実技
5	感覚統合療法の理論と方法（1） -エアーズ法	1,2	講義
6	感覚統合療法の理論と方法（2）	1,2	講義、実技
7	小児整形外科疾患の評価と治療（1） 二分脊椎、多発性関節拘縮、分娩麻痺など	3,4	講義、ビデオ
8	小児整形外科疾患の評価と治療（2）	3,4	講義、ビデオ
9	染色体異常・知的発達遅滞の評価と治療（1） ダウン症、知的発達遅滞	5,6	講義、ビデオ
10	染色体異常・知的発達遅滞の評価と治療（2）	5,6	講義、ビデオ
11	プレスピーチ（1）	7	講義
12	プレスピーチ（2）	7	講義、実技
13	シーティング（1）	8	講義
14	シーティング（2）	8	講義、実技

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	子どものリハビリテーション医学	神内一保・安藤徳彦	医学書院	1999年 9500円＋税
	写真でみる乳児の運動発達	木下孝子・中村 勇	共同医書出版社	1998年 5500円＋税
参考書	基礎運動学 第5版	中村隆一・斉藤 博	医歯薬出版	2001年 6700円＋税
	理学療法評価法	松沢 正	金原出版	1998年 6200円＋税
	脳性麻痺の類型別運動発達	カレル&ベルタ・ポバス	医歯薬出版	2001年 2550円＋税
その他の資料	乳児の発達のみかたのエッセンス	吉岡 博	診断と治療社	2001年 1400円＋税
	プリント、他			

【評価方法】 出席 小テスト 定期テスト その他	【履修上の留意点】 動きやすい服装で参加のこと。 治療技術の習得には理論の理解とくり返しの練習が必要。
--------------------------------	---